

# パソコン三昧 やさしい講座

[パソコン三昧へ](#) [目次のページへ](#)

## 第27回 WindowsPE 2.0のCDを作る手順

### 2. WindowsPE をカスタマイズする

WindowsPE をカスタマイズするには、Windows PE Toolsを実行して、「Windows PE Tools コマンド プロンプト」画面から各コマンドを使ってカスタマイズして行く。次の手順で進める。

[2. 1 Windows PE Tools の実行](#)

[2. 2 作業環境の構築](#)

[2. 3 主なアプリケーションとコマンドラインツール](#)

[2. 4 ImageXコマンドWIMファイルをマウントする](#)

[2. 5 WindowsPE 2.0をカスタマイズする](#)

[2. 6 変更をWIMファイルに適用する](#)

[2. 7 ISOイメージファイルを作成する。](#)

[3. WindowsPE 2.0のCDを作成する](#)

[4. WindowsPE 2.0のCDを使用する](#)

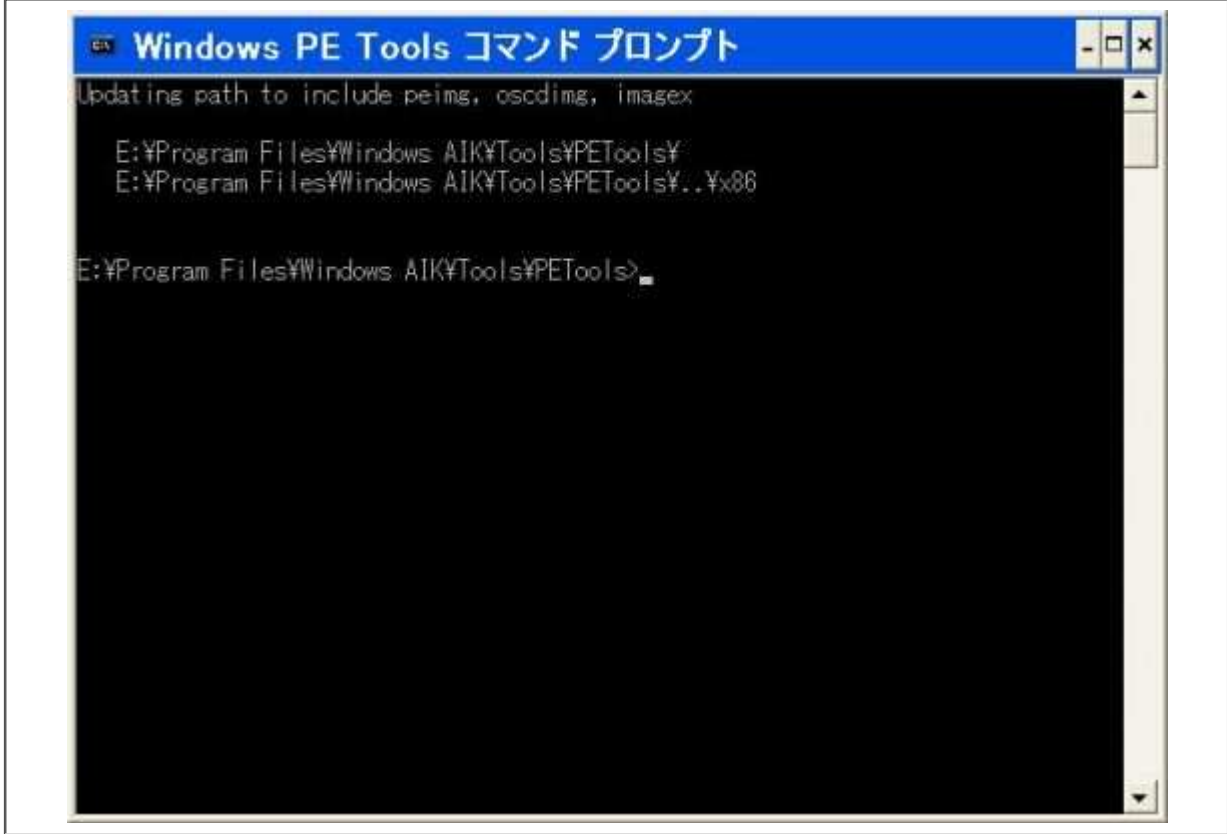
#### 2.1 Windows PE Tools の実行

まず、Windows PE Tools を実行する。

(1)「スタート」から「すべてのプログラム」、「Microsoft Windows AIK」から「Windows PE Tools コマンド プロンプト」をクリックする。



(2)「Windows PE Tools コマンド プロンプト」画面が表示される。ここからコマンドの入力が始まる。



## 2.2 作業環境の構築

まず、作業フォルダを作成して、必要なファイルをコピーする。ここでは、作業フォルダを「winpe」とし、「e:ドライブ」に格納する。必要ファイルとは、「x86」のことである。コピーするコマンドは、「copype」で、コマンドスクリプトの書式は、下記の通り。

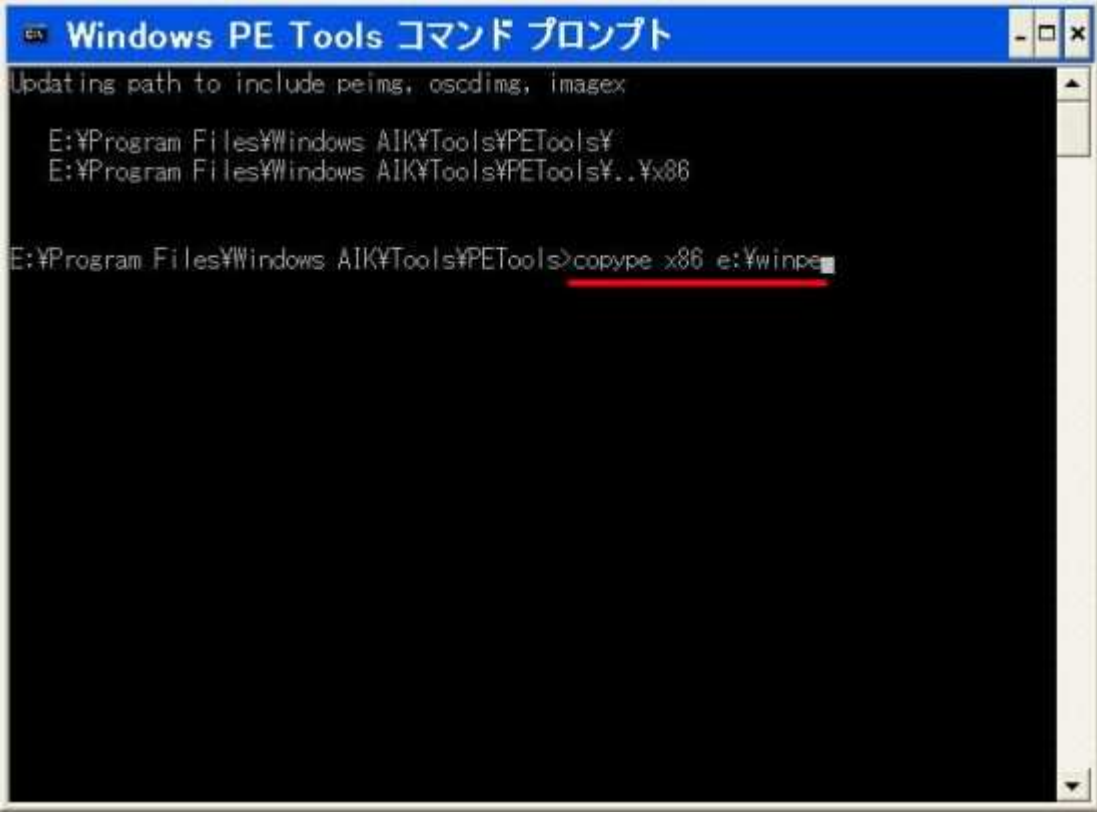
## ●コマンドスクリプトの書式

**copype <アーキテクチャ> <フォルダ>**

アーキテクチャ : x86

フォルダ : 作業用フォルダのパス

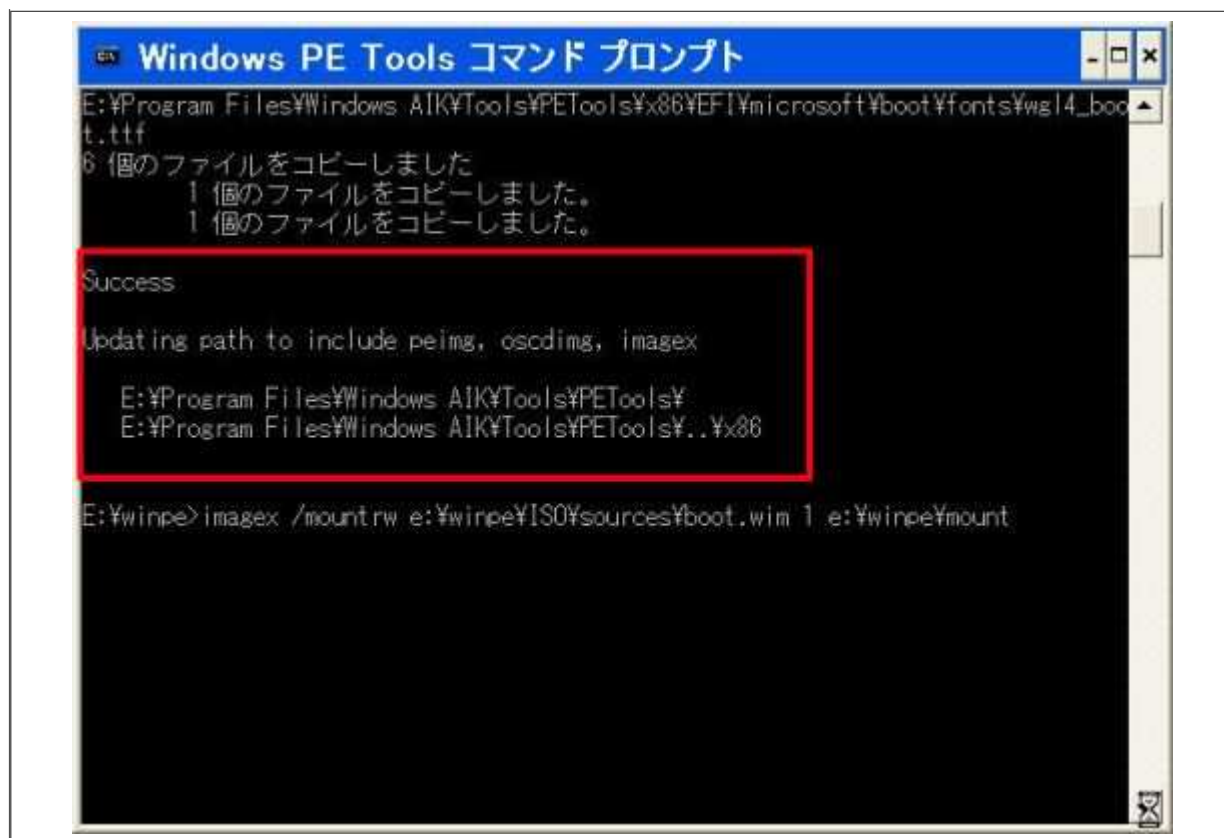
(1) 下記画面で、「**copype x86 e:¥winpe**」と入力して、「Enterキー」を押す。



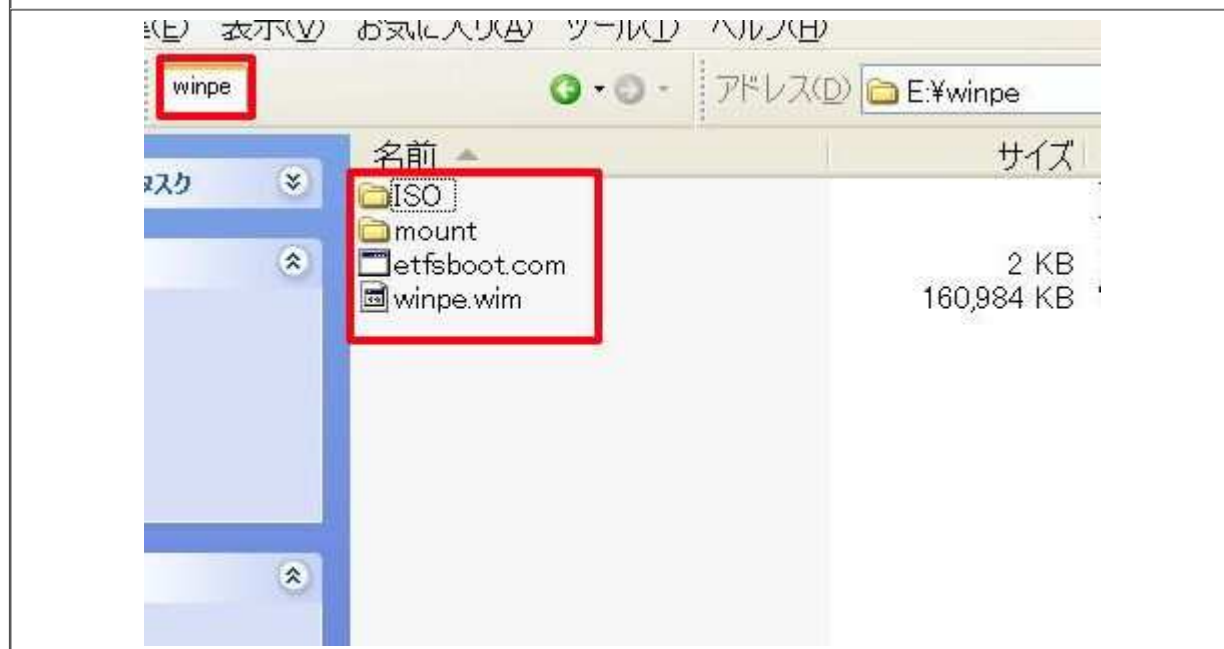
```
Windows PE Tools コマンド プロンプト
Updating path to include peimg, oscoding, imagex
E:¥Program Files¥Windows AIK¥Tools¥PETools¥
E:¥Program Files¥Windows AIK¥Tools¥PETools¥..¥x86

E:¥Program Files¥Windows AIK¥Tools¥PETools>copype x86 e:¥winpe
```

(2) 下記の「メッセージ」が表示されれば、正常終了。



(3) 作業フォルダ(ここでは、「e:\winpe」フォルダ)には、2つのフォルダと2つのファイルがコピーされている。この時点では、「mount」フォルダは空である。



## 2.3 主なアプリケーションとコマンドラインツール

2.2項の「作業環境構築」の後に、ISOイメージファイルを作成すると、カスタマイズ前のWindowsPE 2.0 CDが出来上がり、利用できる主なアプリケーションとコマンドライン

ツールは、下記の通りです。

ファイル名	概要
<b>GUIアプリケーション</b>	
<b>notepad.exe</b>	メモ帳
<b>regedit.exe</b>	レジストリエディタ
<b>taskmgr.exe</b>	タスクマネージャ
<b>ファイルやディスクの操作が行なえるコマンドラインツール</b>	
<b>attrib.exe</b>	ファイル属性の表示・変更
<b>chkdsk.exe</b>	ディスクのエラーチェック
<b>convert.exe</b>	ファイルシステムの変換
<b>diskpart.exe</b>	パーティションの管理ツール
<b>expand.exe</b>	圧縮ファイルの展開ツール
<b>find.exe</b>	ファイル内の文字列を検索
<b>Robocopy.exe</b>	コピーツール
<b>xcopy.exe</b>	コピーツール
<b>その他のコマンドラインツール</b>	
<b>bcdedit.exe</b>	ブート構成データストアの管理
<b>drvload.exe</b>	ドライバを読み込む
<b>net.exe</b>	NETコマンド。ネットワークドライブの割り当てなどが可能
<b>reg.exe</b>	コマンドライン版のレジストリ編集ツール
<b>regsvr32.exe</b>	コンポーネントの登録ツール
<b>wpeutil.exe</b>	WindowsPEコマンドラインユーティリティ

## 2.4 ImageXコマンドでWIMファイルをマウントする

WindowsPE 2.0のイメージファイルは、Windows Vistaのインストールイメージにも使用されている「Windows Imaging Format(WIM)と呼ばれる新しい形式のイメージファイルとなっている。WIM形式のイメージファイルは、一般的なイメージバックアップソフトなので作成されるセクタベースのイメージ形式とは異なり、ファイルベースのイメージ形式となっている。WIM形式のイメージファイルには、複数のイメージファイルを格納できるが、同一のファイルが存在した場合、イメージファイル内には1つだけ格納する。これにより、複数の環境に対応する(重複ファイルが多く存在する)イメージファイルを作成する際、ファイルサイズを最小限に抑えることが出来る。

まずは、ImageXコマンドを使用して、「boot.wim」ファイルを書き込み可能モードにして、「mount」フォルダにマウントする。

### ● ImageXコマンドの書式1

(WIMファイルを書き込み可能モードでマウントする)

**imagex /mountrw <WIMファイル> <イメージ番号> <マウントするフォルダ>**

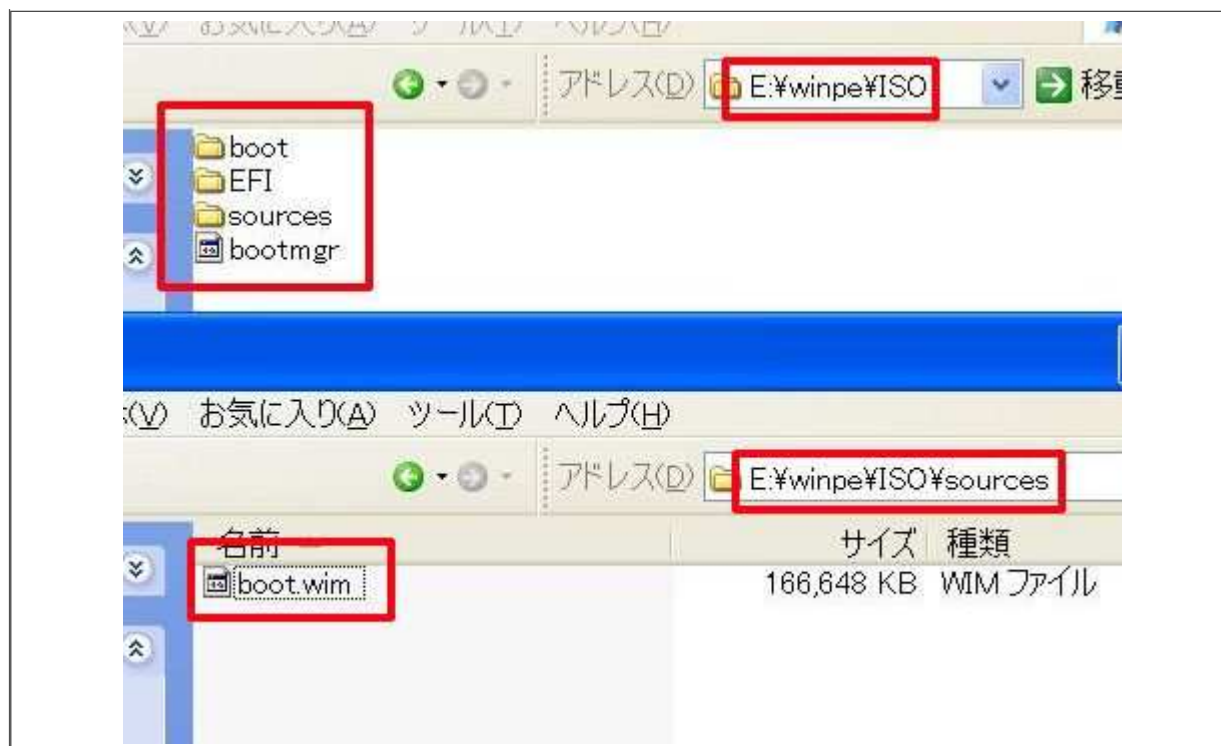
WIMファイル : マウントするWIMファイルを指定する

イメージ番号 : WIMファイルは複数のイメージを格納できるため、イメージ番号を指定する。

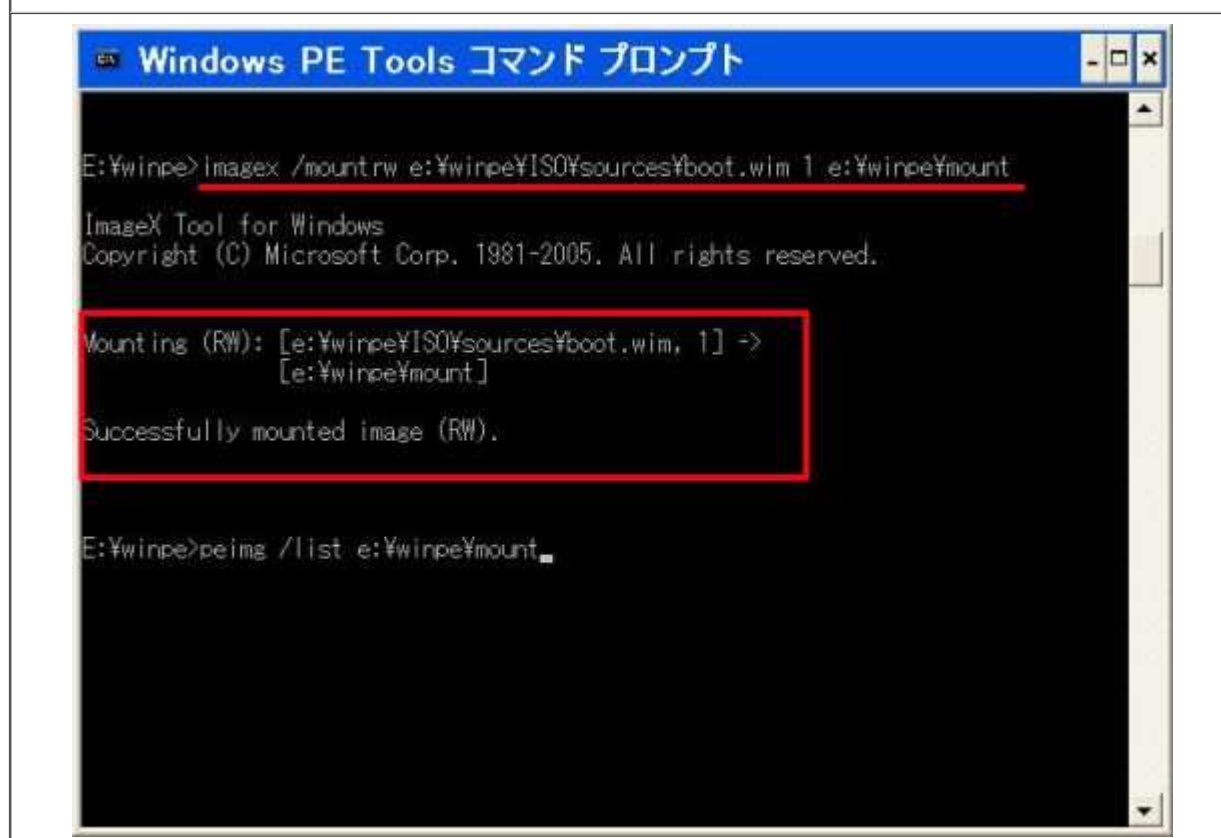
マウントするフォルダ: イメージをマウントするフォルダ

(1) 作業フォルダにコピーされた内容は、2. 2の(4)項の通りである。その中の「ISO」フォルダの中は、下記の画面のごとく、4つのフォルダと1つのファイルがある。その中の「sources」フォルダの中に「boot.wim」ファイルがある。

。



(2) 下記画面で、「**imagex /mountrw e:\winpe\ISO\sources\boot.wim 1 e:\winpe\mount**」と入力して、「Enterキー」を押す。下記画面のメッセージが表示されると正常終了。



(3) 空だった「mount」フォルダに4つのフォルダがマウントされた。



## 2.5 WindowsPE 2.0をカスタマイズする

PEImgコマンドを使用して、オプションコンポーネントのインストールや「imagex.exe」などのコマンドラインツールやアプリケーションの追加をして、WindowsPE 2.0をカスタマイズする。

### 2.5.1 オプションコンポーネントをインストールする

● **PEImgコマンドの書式1** (パッケージをインストールする)

`peimg /install=<パッケージ名> <イメージがマウントまたは展開されたフォルダ>`

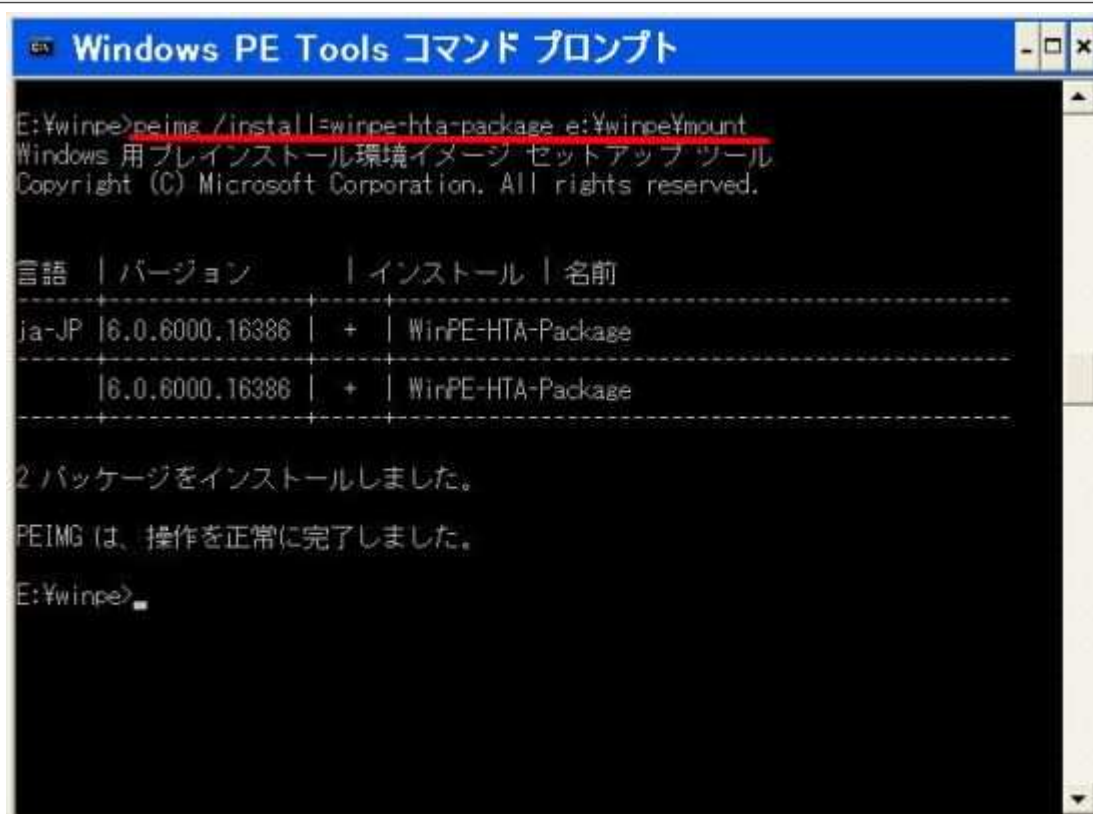
● **オプションコンポーネント**

パッケージ名	説明
<b>WinPE-HTA-Package</b>	HTMLアプリケーションのサポート
<b>WinPE-MDAC-Package</b>	Microsoft Data Access Componentのサポート
<b>SWinPE-Scripting-Package</b>	Windows Script Hostのサポート
<b>WinPE-XML-Package</b>	Microsoft XML(MSXML)のサポート

(1) 下記画面で、「**peimg /install=winpe-hta-package e:\winpe\mount**」と



入力して、「Enterキー」を押す。下記画面のメッセージが表示されると正常終了。



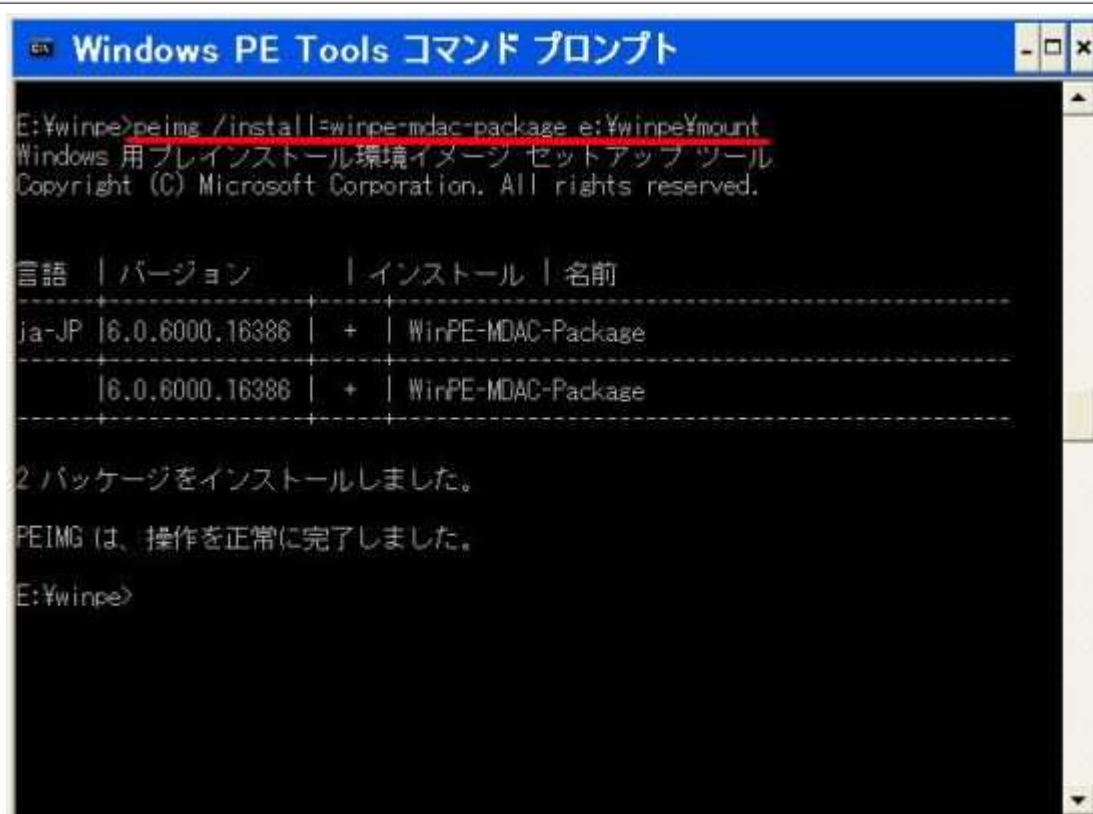
```
Windows PE Tools コマンド プロンプト

E:\winpe>peimg /install=winpe-hta-package e:\winpe\mount
Windows 用プレインストール環境イメージ セットアップ ツール
Copyright (C) Microsoft Corporation. All rights reserved.

言語 | バージョン      | インストール | 名前
-----|-----|-----|-----
ja-JP | 6.0.6000.16386 | + | WinPE-HTA-Package
      | 6.0.6000.16386 | + | WinPE-HTA-Package

2 パッケージをインストールしました。
PEIMG は、操作を正常に完了しました。
E:\winpe>
```

(2) 下記画面で、「**peimg /install=winpe-mdac-package e:\winpe\mount**」と入力して、「Enterキー」を押す。下記画面のメッセージが表示されると正常終了。



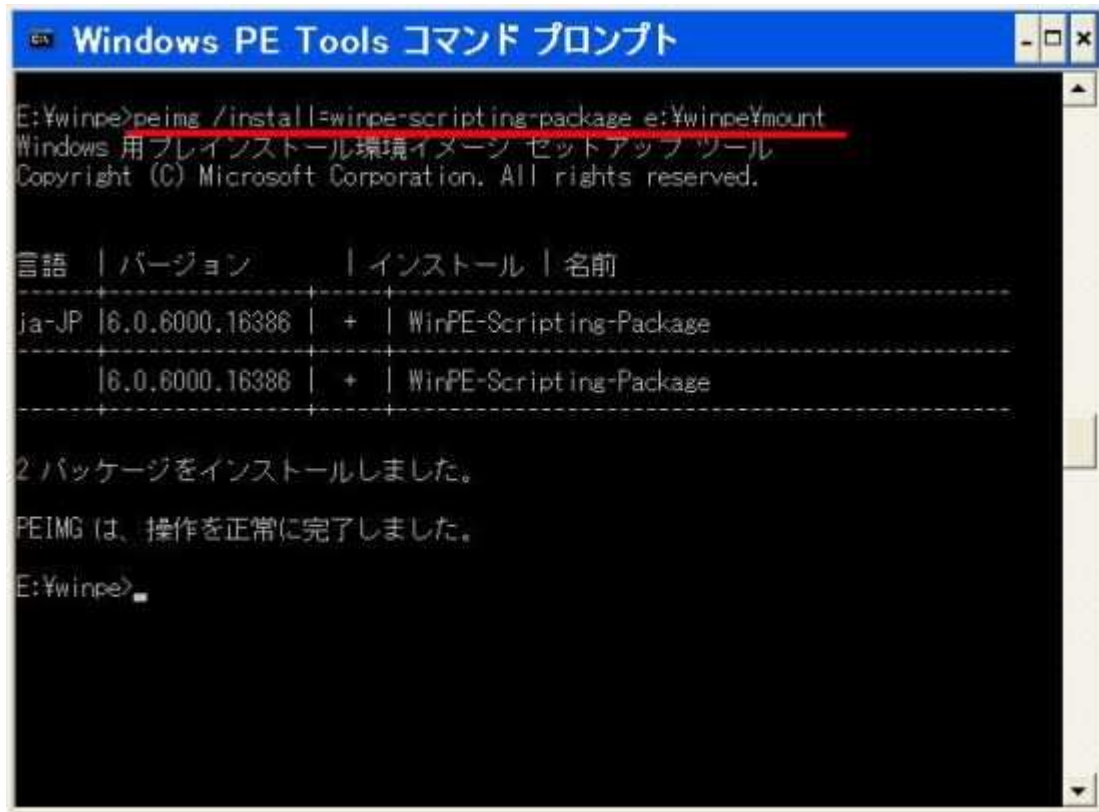
```
Windows PE Tools コマンド プロンプト

E:\winpe>peimg /install=winpe-mdac-package e:\winpe\mount
Windows 用プレインストール環境イメージ セットアップ ツール
Copyright (C) Microsoft Corporation. All rights reserved.

言語 | バージョン      | インストール | 名前
-----|-----|-----|-----
ja-JP | 6.0.6000.16386 | + | WinPE-MDAC-Package
      | 6.0.6000.16386 | + | WinPE-MDAC-Package

2 パッケージをインストールしました。
PEIMG は、操作を正常に完了しました。
E:\winpe>
```

(3) 下記画面で、「**peimg /install=winpe-scripting-package e:¥winpe ¥mount**」と入力して、「Enterキー」を押す。下記画面のメッセージが表示されると正常終了。

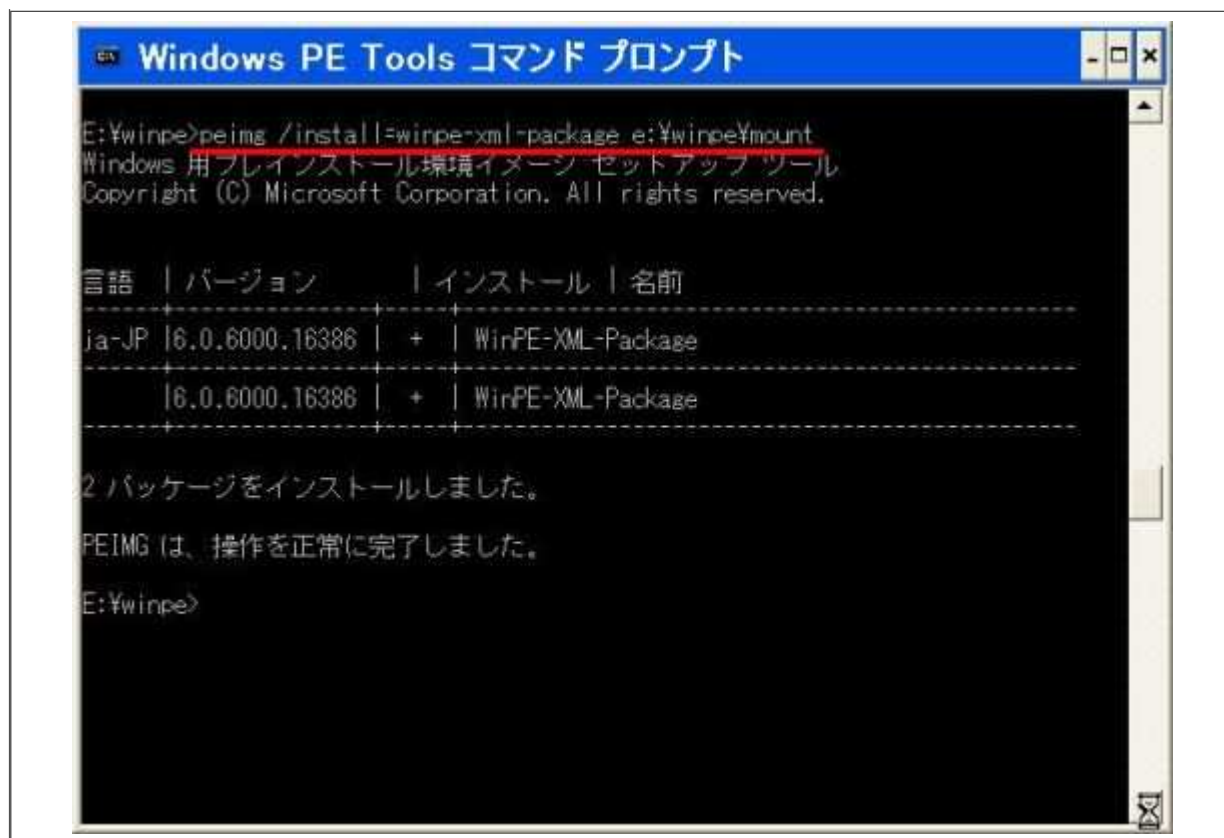


```
E:¥winpe>peimg /install=winpe-scripting-package e:¥winpe¥mount
Windows 用ブレイクインストール環境イメージ セットアップ ツール
Copyright (C) Microsoft Corporation. All rights reserved.

言語 | バージョン | インストール | 名前
-----|-----|-----|-----
ja-JP | 6.0.6000.16386 | + | WinPE-Scripting-Package
      | 6.0.6000.16386 | + | WinPE-Scripting-Package

2 パッケージをインストールしました。
PEIMG は、操作を正常に完了しました。
E:¥winpe>
```

(4) 下記画面で、「**peimg /install=winpe-xml-package e:¥winpe ¥mount**」と入力して、「Enterキー」を押す。下記画面のメッセージが表示されると正常終了。

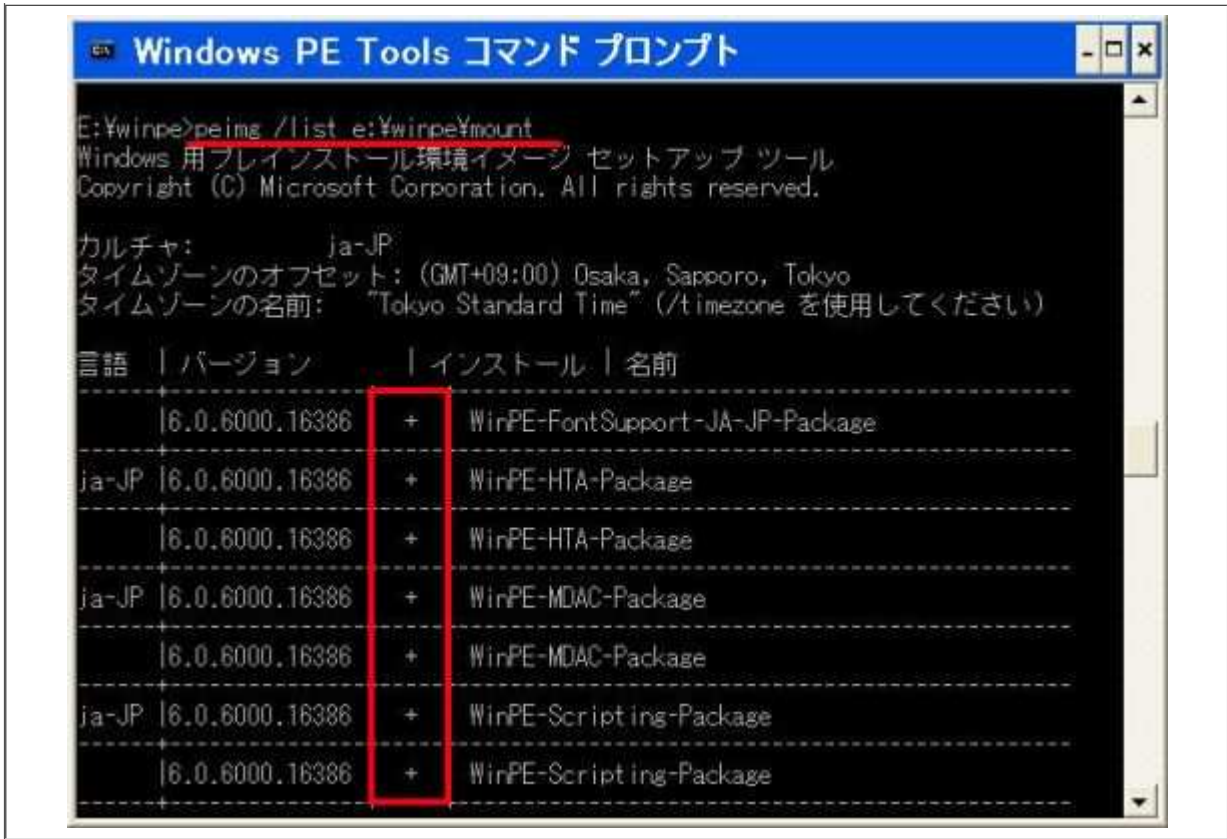


## 2.5.2 パッケージのインストール状況を確認する

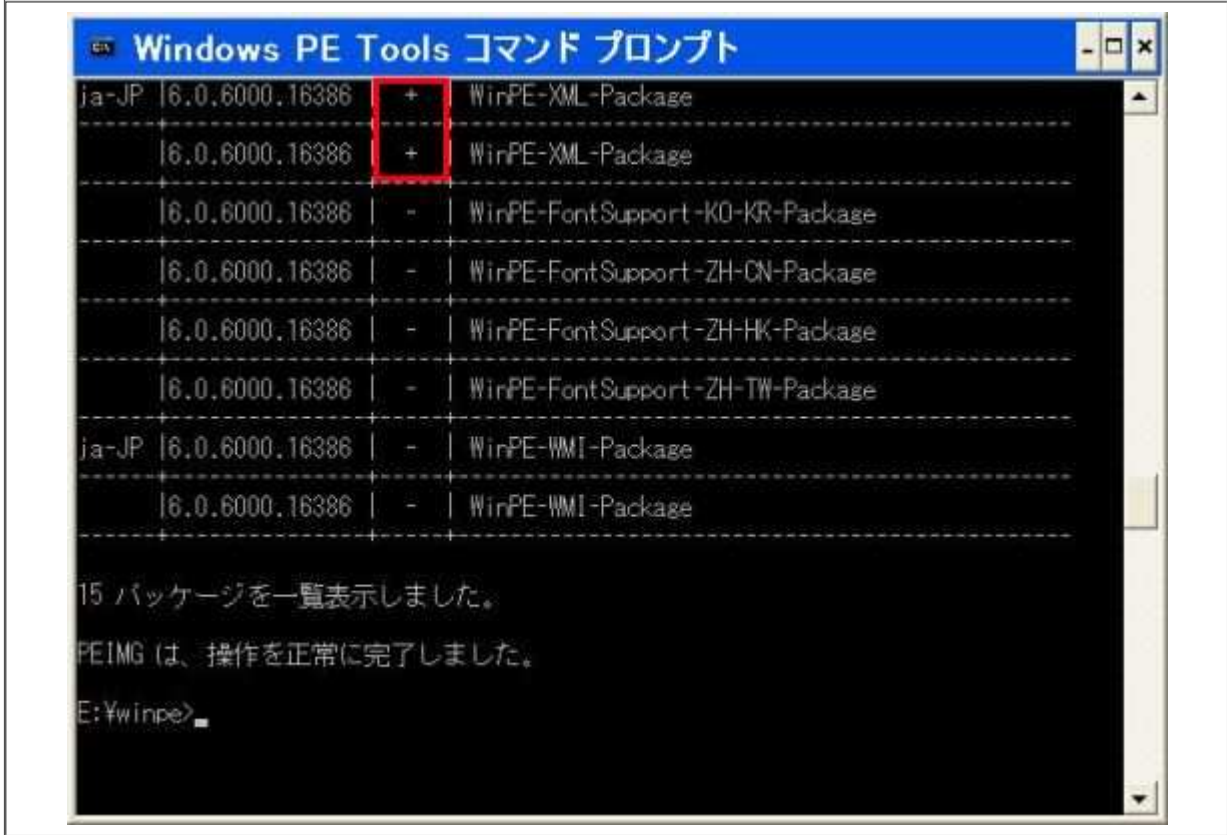
### ● PEImgコマンドの書式2 (利用可能なパッケージを確認する)

`peimg /list <イメージがマウントまたは展開されたフォルダ>`

(1) 下記画面で、「`peimg /list e:\winpe\mount`」と入力して、「Enterキー」を押す。インストール済みのパッケージは、一覧表の左から3番目の列に「+」が表示されている。



(2) 下記画面で、インストール済みのパッケージは、一覧表の左から3番目の列に「+」が表示されている。下記画面のメッセージが表示されると正常終了。

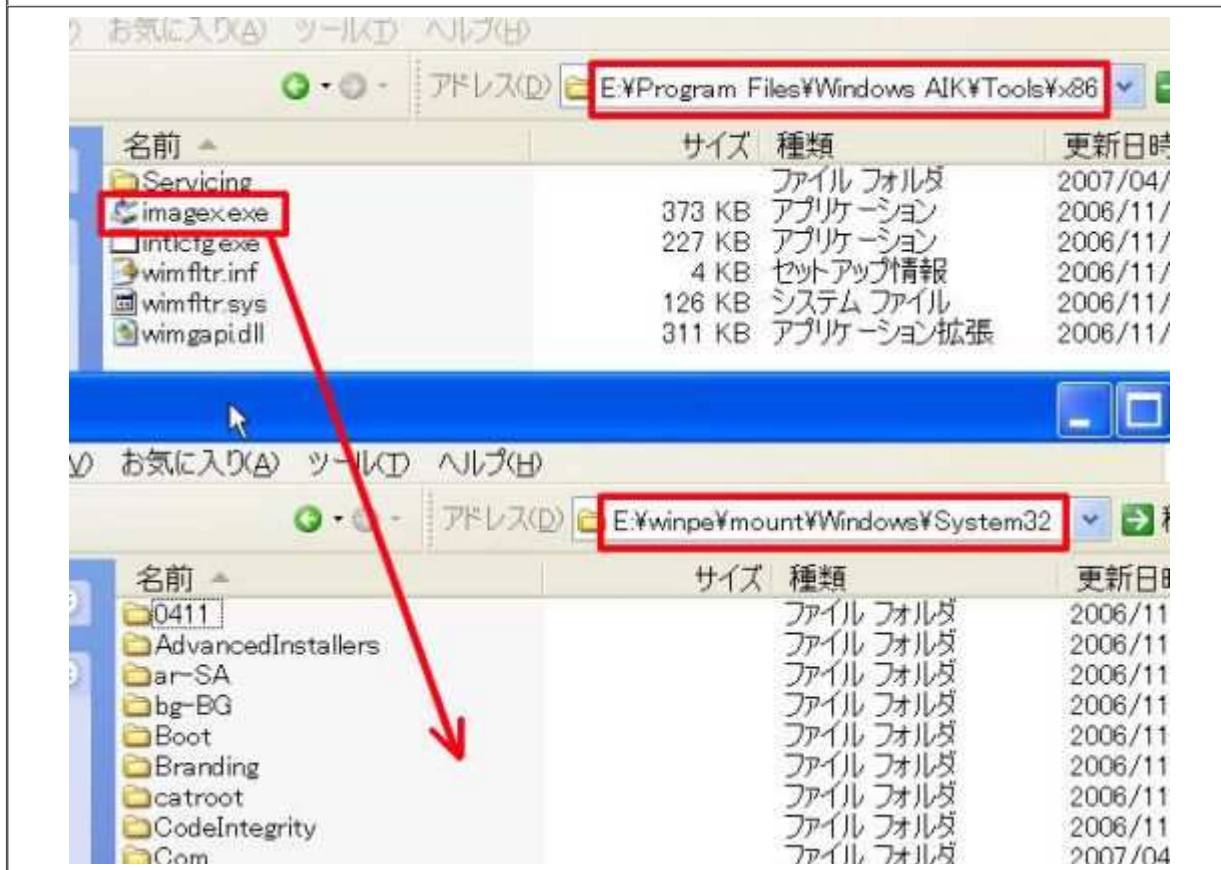


### 2.5.3 コマンドラインツールを追加する

## 2.5.3-1 「imagex.exe」コマンドの追加

「imagex.exe」コマンドラインツール は、WindowsXPのバックアップのとき使用するの  
で、必ず追加しよう。

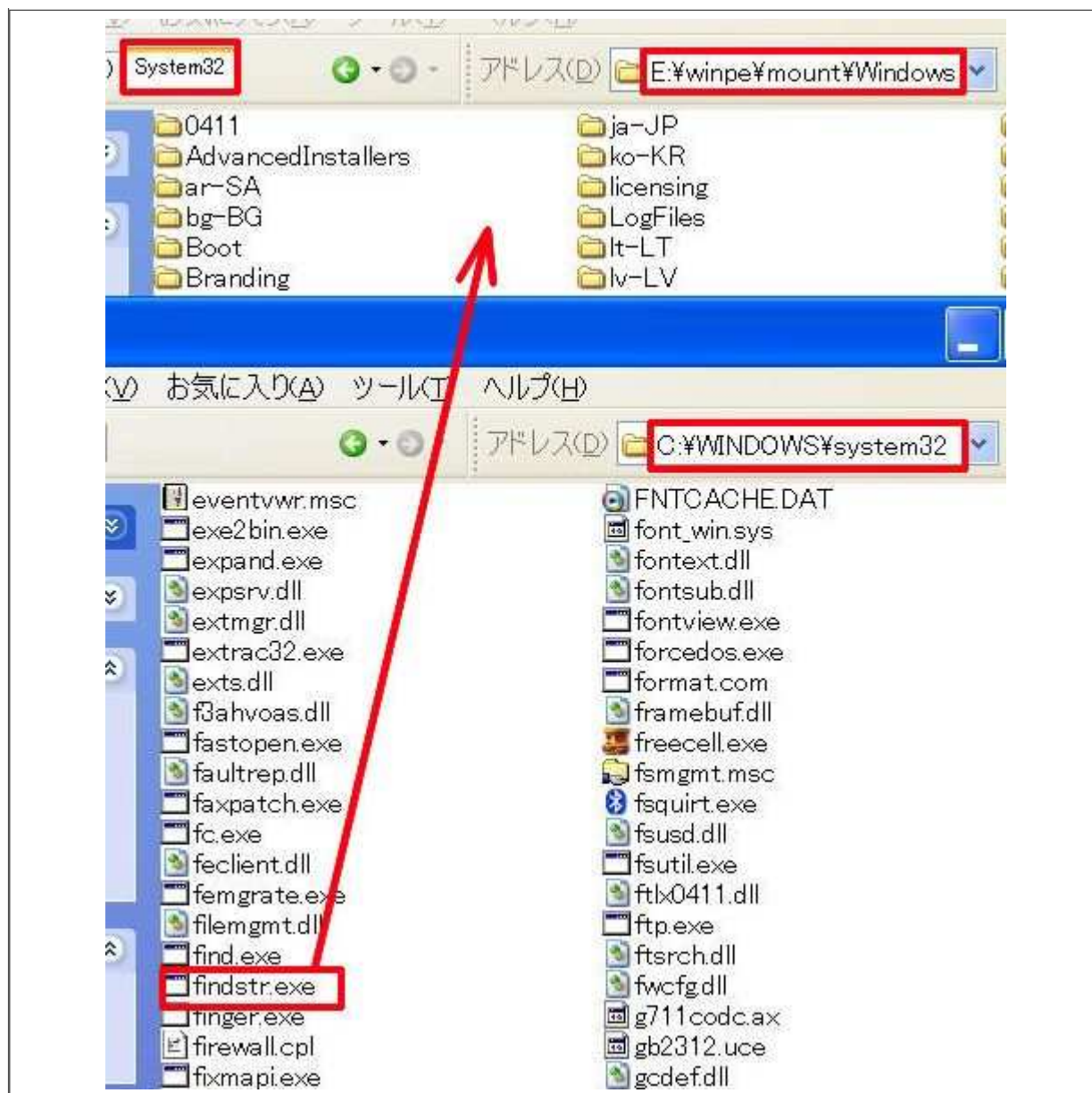
(1)Windows AIKのインストールしたフォルダの「X86」フォルダの中の  
「imagex.exe」ファイルを「winpe」フォルダの「¥mount¥Windows¥System32」フォル  
ダにコピーする。



## 2.5.3-2 「findstr.exe」コマンドの追加

イメージファイル内のイメージ情報の確認は、imagex.exeに「/info」オプションを付けて  
実行するが、表示される情報が多いので、コマンドプロンプトの画面上では、内容が確  
認しにくい。そこで、「findstr.exe」コマンドを組み合わせる必要な情報だけを表示する。

(1)c:ドライブにある「WINDOWS」フォルダの「systemu32」フォルダ内の  
「findstr.exe」ファイルを「winpe」フォルダの「¥mount¥Windows¥System32」フォル  
ダにコピーする。



## 2.6 変更をWIMファイルに適用する

カスタマイズ作業が終わったら、変更をWIMファイルに適用して、マウントを解除する。

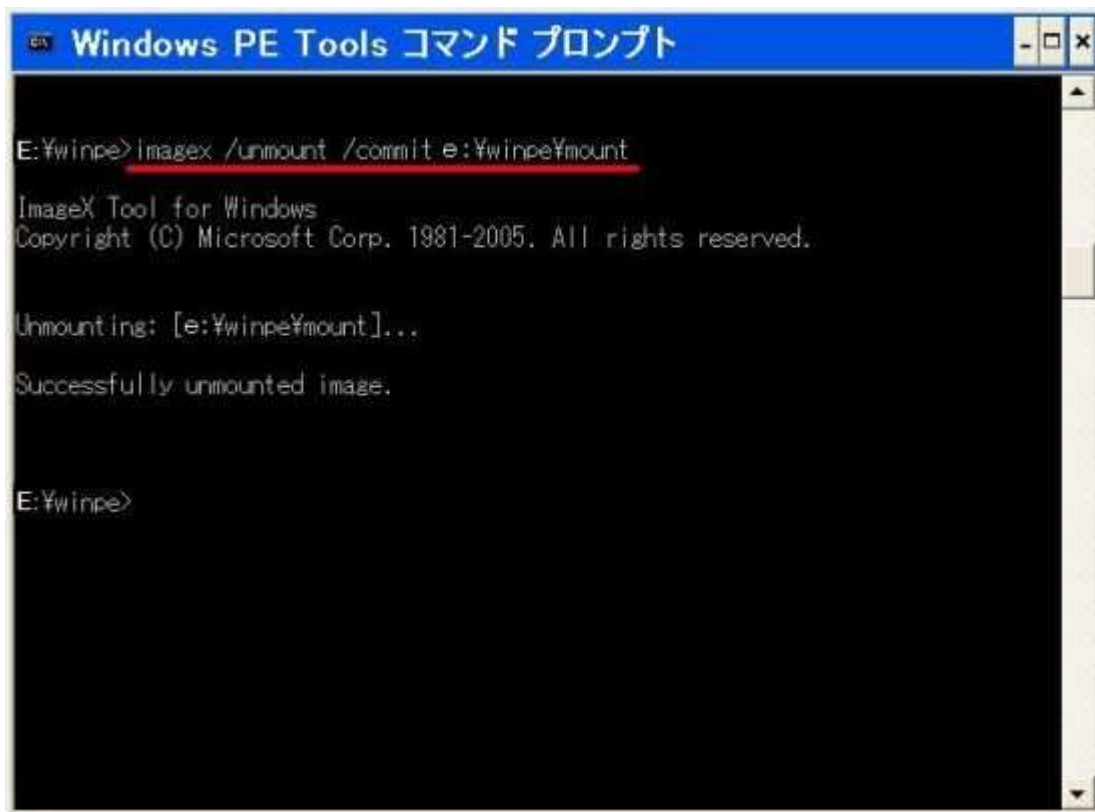
### ● ImageXコマンド書式2

(イメージに変更を適用してからマウントを解除する)

**imagex /unmount /commit <イメージをマウントしたフォルダ>**

(1) 下記画面で、「**imagex /unmount commit e:\winpe\mount**」と入力して

「Enter」キーを押す。下記画面が表示されると正常終了。



```
Windows PE Tools コマンド プロンプト

E:\winpe>ImageX /unmount /commit e:\winpe\mount

ImageX Tool for Windows
Copyright (C) Microsoft Corp. 1981-2005. All rights reserved.

Unmounting: [e:\winpe\mount]...

Successfully unmounted image.

E:\winpe>
```

## 2.7 ISOイメージファイルを作成する

### ● **oscdimg**コマンド書式(ブータブルCDイメージを生成する)

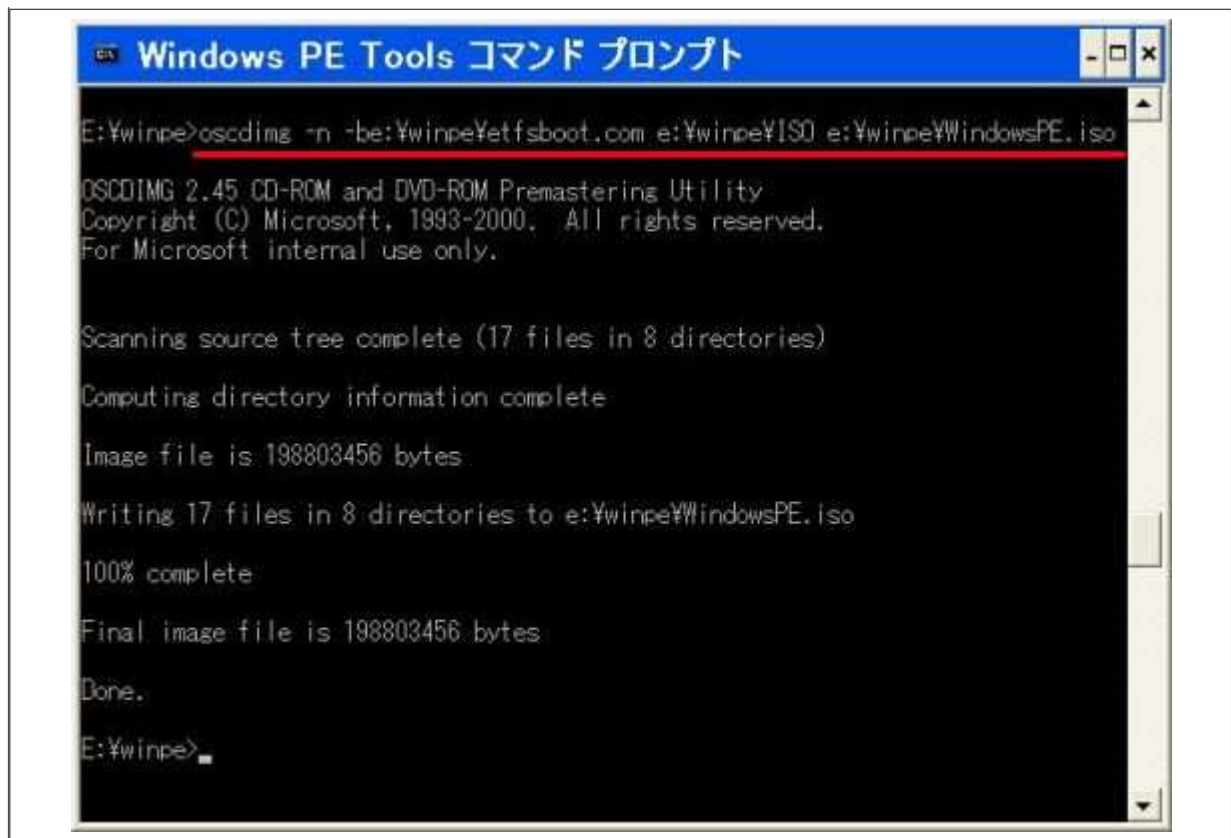
**oscdimg -n -b<CDブートイメージ> <構築元フォルダ> <出力ファイル>**

CDブーストイメージ : EI Torito規格のCDブートイメージファイル

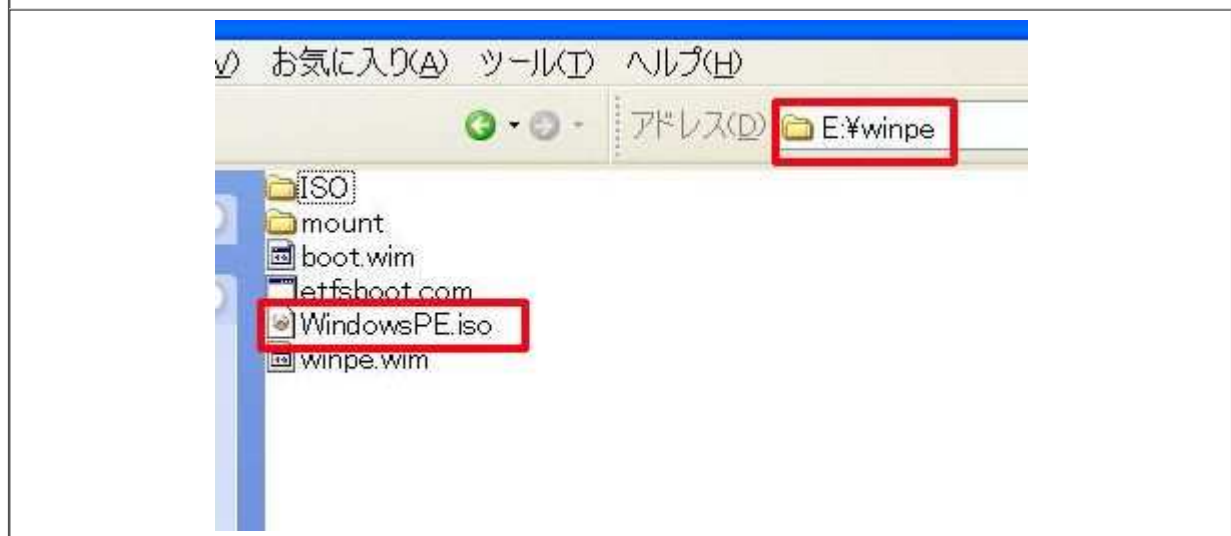
構築元フォルダ : 指定したフォルダをルートとしてISOイメージが生成される

出力ファイル : 生成するISOイメージファイルの名前

(1) 下記画面で、「**oscdimg -n -be:%winpe%\etfsboot.com e:%winpe%\ISO e:%winpe%\WindowsPE.iso**」と入力して、「Enter」キーを押す。下記画面のメッセージが表示されると正常終了。



(2)「winpe」フォルダに、[WindowsPE.iso]ファイルが出来上がる。



### 3. WindowsPE 2.0のCDを作成する

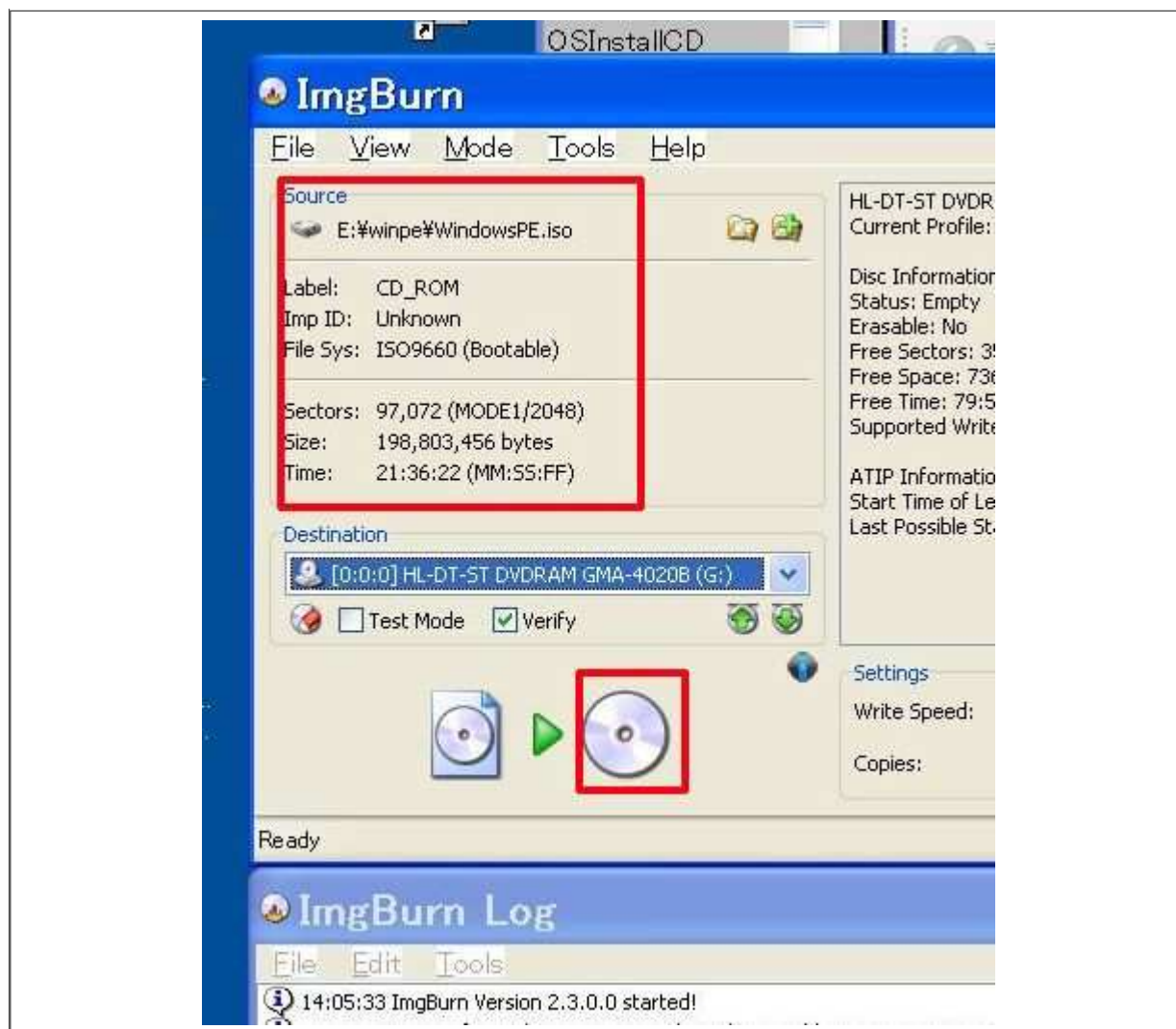
(1) WindowsPE 2.0のCDを作成するには、ISOイメージファイルをメディアに書き込むソフトが必要となる。[その入手方法およびインストール手順は、こちらを参照してください。](#)



(2) ISOイメージファイルをメディアに書き込むソフトのインストールができたならば、そのソフトのアイコンをダブルクリックして起動する。そして、2. 6の(2)項のISOイメージファイルをドラッグして、起動したソフトのウインドウにドロップする。



(3) ISOイメージファイルをメディアに書き込むソフトのウインドウの「source」が表示される。「CD/DVDアイコン」をクリックする。書き込みが始まる。



(4) 書き込みが終了すると、下記画面が表示されるので、[OK]をクリックする。



(5) 出来上がったCD/DVDの内容が法事される。

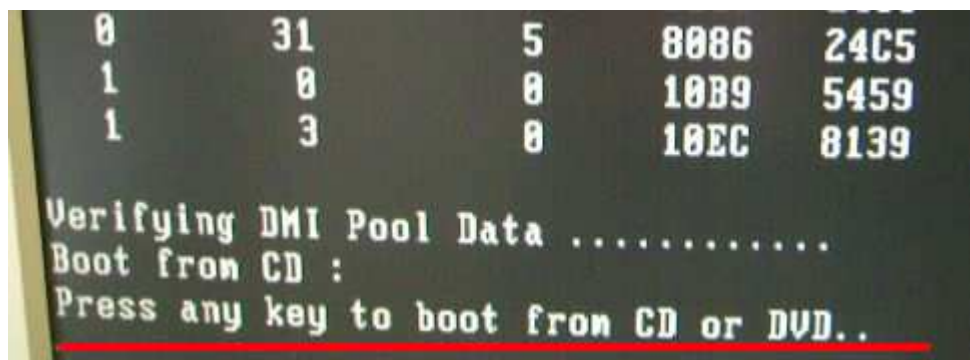


## 4. WindowsPE 2.0 のCDを使用する

さて、出来上がった、WindowsPE 2.0のCDでパソコンを起動しよう。パソコンによっては、表示の仕方は異なるが、ようするに、マウントしたCD-Rからパソコンが起動するように操作する。

### 4.1 私のパソコンの場合

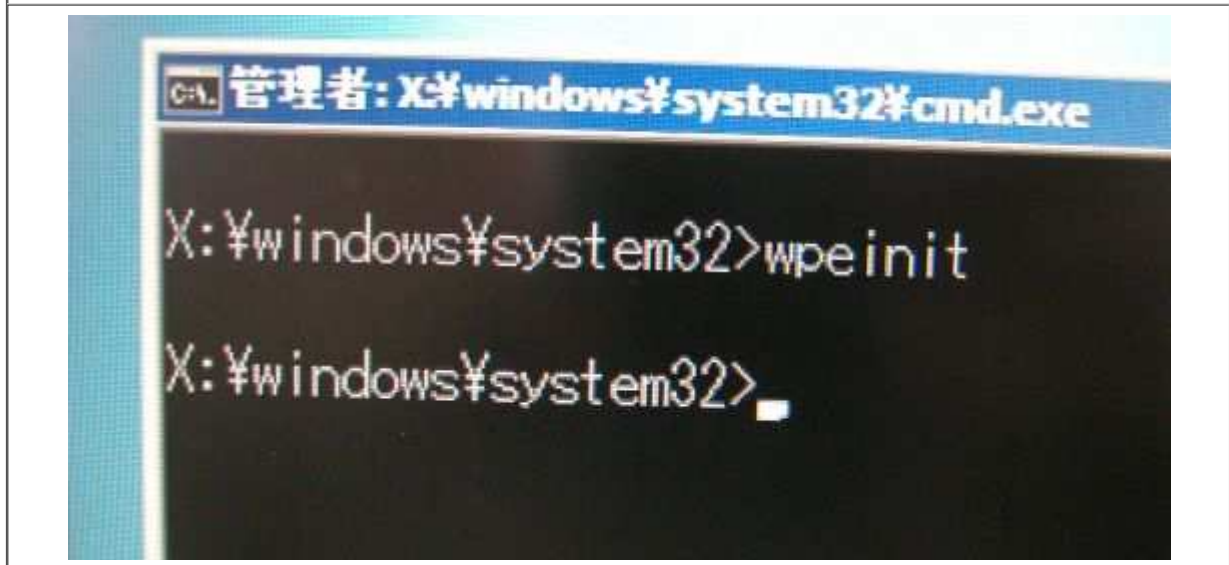
(1) 出来上がった、WindowsPE 2.0のCDをマウントして、パソコンを再起動する。右記のメッセージ『 Press any key to boot from CD or DVD... 』が表示されたときに、「Enter」キーを押すと、マウントしたCD-Rからパソコンが起動する。



(2) Loading中。



(3) 下記画面が表示されれば、WindowsPE 2.0 は、正常に立ち上がったことです。

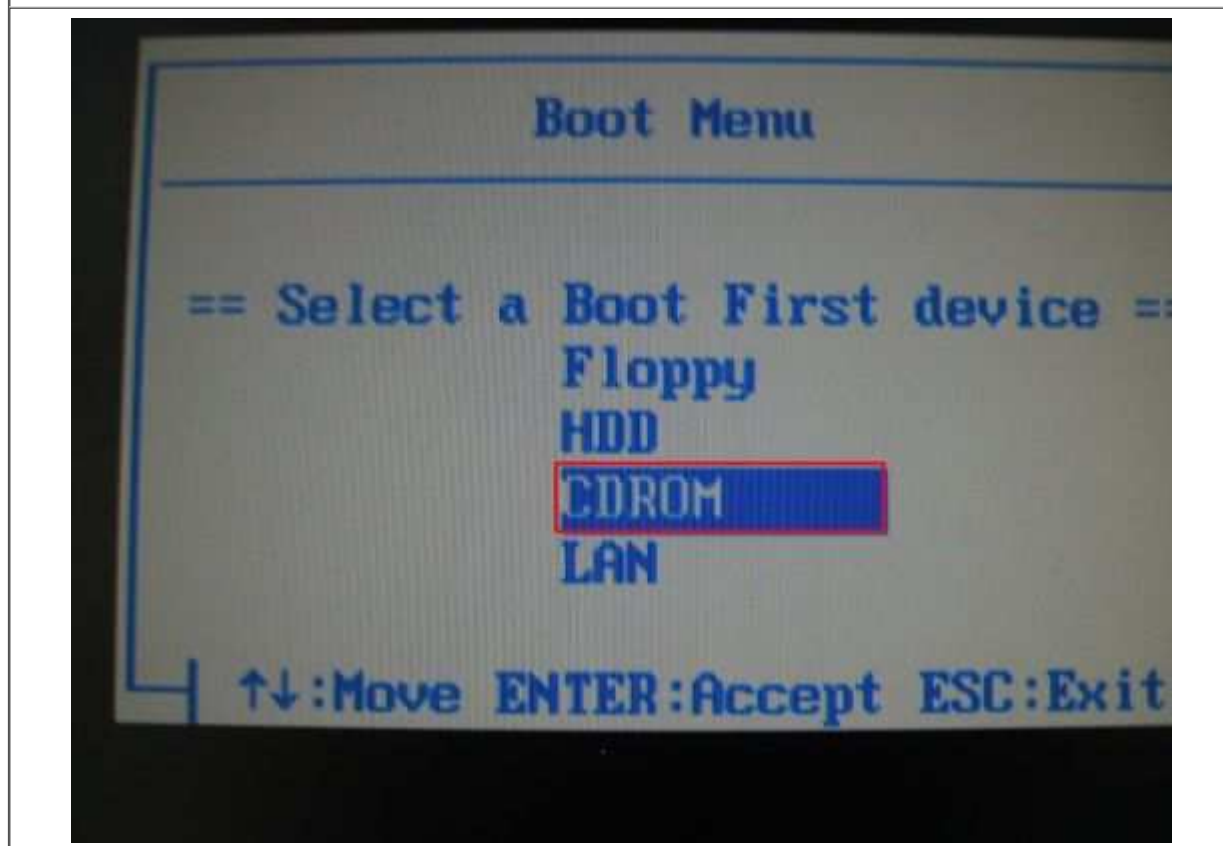


## 4.2 その他のパソコンの場合

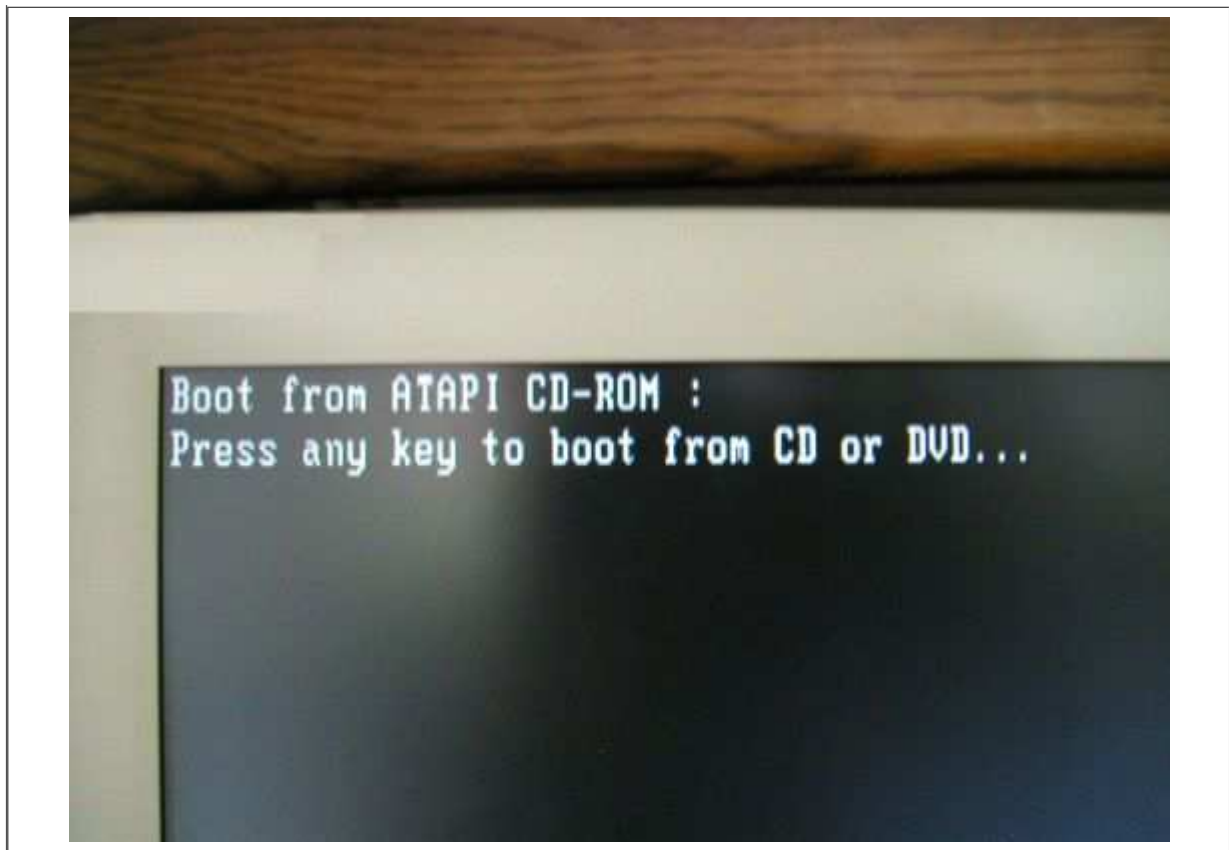
(1) 出来上がった、WindowsPE 2.0のCDをマウントして、パソコンを再起動する。下記画面で、ファンクションキー12、「F12」キーを押す。



(2) 下記下面で、「CDROM」を選択して、「Enter」キーを押す。



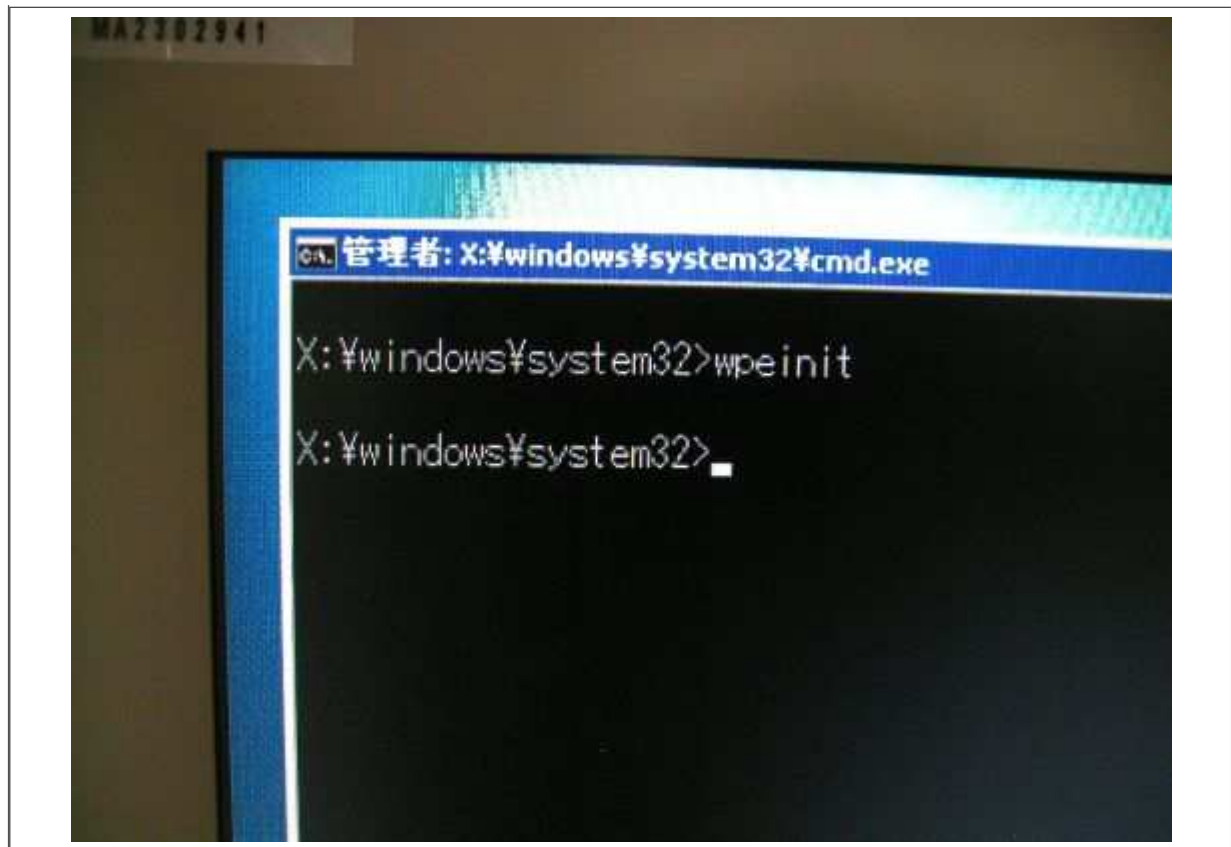
(3) 右記のメッセージ『 Press any key to boot from CD or DVD.... 』が表示されたときに、「Enter」キーを押すと、マウントしたCD-Rからパソコンが起動する。



**(4)** Loading中。



**(5)** 下記画面が表示されれば、WindowsPE 2.0 は、正常に立ち上がったことです。



これで、WindowPE 2.0 のcd作成手順は終わりです。このCDを使って、システム、の復旧やデータの救出、パーティション操作やシステムのバックアップなど、活用してください。

このページを作成するに当たり、[「な〇の屋」さんに、アドバイスを頂きました。](#)お礼申し上げます。

このページは、下記の書庫を参照しました。

月刊誌「PCJapan」 発行 ソフトバンク クリエイティブ株式会社

[目次のページへ](#)

[このページのトップへ](#)   [やさしい講座のメニューへ](#)   [パソコン三昧へ](#)

Powered by [FC2.com](#)